



# 東一小だより

1 月 号

令和4年1月11日発行  
大田区立東調布第一小学校  
学校長 鳥居 洋子  
<https://www.otaschool.ed.jp/higashichoufudai1-es/guide/index.html>

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしく願いいたします。



校長 鳥居 洋子

保護者の皆様並びに地域の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

お正月は1年の始まりとして、年中行事の中でも特別な意味をもっています。「あけましておめでとうございます。」と挨拶をし、新しい年の幸せと健康をみんなで祈ります。3学期は学年の最後の学期です。東一ギャラリー、6年生を送る会などの行事もあります。子供たちが目標に向かって努力をし、さらに大きく成長することができるようにと思います。そして、健康で安全に過ごすことができるように教職員一同、日々の教育活動に取り組んでまいります。

さて、昨年12月18日に、5、6年生の選手が大田スタジアムで行われた大田区小学生駅伝大会に出場しました。昨年度は感染症予防のために中止になりましたので、2年ぶりの開催です。16名の選手が自分の目標に向かってベストを尽くすとともに、みんなで心をひとつにして頑張る姿が素晴らしかったです。

駅伝のような「つなぐ」場面は、学校生活でも大切なことです。最高学年の6年生は、3月に卒業を迎えます。5年生は、2学期から再開した縦割り班活動のリーダーを務めたり、委員会やクラブ活動の進め方を学んだり、学校の仕事を少しずつ引き継いでいます。最高学年の6年生からたくさんのお話を学ぶ3学期にしてほしいと思います。

また、様々なことを以前と同じように行うことができず、先の見通しがもちづらいコロナ禍の中で、不安やストレスを抱える子供たちの増加が心配されています。9月に実施したエールウィークを1月にも実施し、子供たちが自らのよさや可能性に気付くことができるように、学校では一人一人の努力や成長を見付け、エールを送ります。子供たちの元気や自己肯定感を高めることにつながるように、取り組んでいきます。

今年も、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 寒さに負けずに活動しよう

養護教諭 久保田 みどり

子供は風の子とはよく言ったもので、児童の中にはこの寒さの中でも半袖半ズボンで登校してくる子もいます。日差しを浴びながら校庭で元気に走り回る姿はキラキラと輝き、喜びを感じます。寒さ暑さの体感是人それぞれなので、朝の空気を肌で感じながら今日の服装を自分で決められる力を付けてほしいと思っています。そのため養護教諭としてできることを着実にしながら児童の育成を目指しています。

春に成長、夏に開花、秋の実りを迎えるために必要な冬の寒さ。長い人生の中にもそんな時期があることでしょ。寒さに耐えた経験は人を大きく強くします。

子供たちにはたくましくしなやかに生きてほしいと願うばかりです。

## 縦割り班活動

佐相 友里子

昨年度は実施することができなかった縦割り班活動。今年度は1・4・6年生のAグループと2・3・5年生のBグループを、別日程で屋外にて実施しています。1学期はBグループ1回、2学期は両グループ1回ずつ活動することができました。1・2年生は初めての異学年交流で、楽しそうに他学年の児童と遊んでいる様子が見られました。高学年もリーダーとして活動することを通して、自発的自治的な力が身に付いてきました。低学年に分かりやすいように話をしたり、みんなが楽しめるような活動を考えたりして、相手の立場になって考えることができました。そんな高学年を見て、低・中学年は親しみや憧れの気持ちが芽生え、休み時間に話しかけたり遊びに誘ったりしている姿があります。

3学期も縦割り班活動をきっかけにさらに仲を深めてほしいと思います。

## 令和3年度 書き初め展

山崎 麻衣

書写学習の一環として書き初めに取り組んでいます。新年を迎えて心新たに自分と向き合い、一年の抱負を書くなどといった日本の伝統行事の一つです。書写力の向上だけでなく、伝統的な日本の文化を受け継ぐ心も育てていきたいところです。そして、書写学習のねらいは、「各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成する」ことです。小学校では、6年間を通して、文字を書く基礎となる姿勢、筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順などを丁寧に指導するとともに書写の日常化が図れるようにしていきたいと考えています。

今年の校内書き初め展は、同時期に行われます。1・2年生は硬筆書写、3年生以上は毛筆書写です。各教室の廊下に展示します。新年を迎え、子供たちが気持ちを新たに作り出した力作をぜひご覧ください。なお、大田区連合書き初め展は、同期間に池上会館展示ホールにて行われます。詳細は、別紙お知らせをご覧ください。

### 3年生の子供たち 「国語の学習の様子」

シルバ 智子

学校では、毎年、教育研究をしながら教育活動を行っています。「対話を通して学び合う児童の育成」という「研究主題」のもと、3年生は国語科の中で、「対話の良さを知り、対話を楽しむ子供。自分の考えを作り、新たな考えを生み出すうえで、対話が有効であると実感できる子供」を目指して研究してきました。

対話とは何か。今求められている力は何かを、夏休みの間に担任3人で調べ、「対話とは、一人一人が自分の考えをもって、友達と考えを交流し合って、自分の考えを広げたり、深めたりすること。」と考え、まずは、9月に「ちいちゃんのかげおくり」の単元で、学習の順序や方法を吟味して授業実践しました。学習後の児童の感想の中に、「僕たちがやったように、みんなの考えを聞きながら学習を深めていくと、物語の内容がとてもよく分かることが分かりました。」という記述が見られました。「他教科においても、児童が友達の話聞くようになった。」「友達と交流することで、考えを広げたり深めたりするようになった。」と担任全員が実感できました。

今、3年生の子供たちは、「三年とうげ」の学習を楽しんでいます。軽快なリズムのある民族物語文です。各クラス、全員で大きな紙芝居をするために、グループごとに場面を決めて、模造紙に絵を描いたり、読みを工夫したり、友達と上手に対話を楽しみながら、自分たちの紙芝居を作り上げています。

### 4年だより

石鍋 有理

今年度4年生は2分の1成人式を迎えます。東一ステージでは、今まで支えてくれたお家の方へこれまでの感謝の気持ちを伝えるとともに成長した姿を見てもらいたいと思い、歌詞に気持ちを込めて合唱をしました。特に「しあわせになあれ」では伸びやかで明るい歌声を体育館に響かせることができました。また、最後の合奏「明日があるさ」は、明るくリズムカルな曲なのでリズムに乗り体全体で表現したり、会場の児童の手拍子とともに演奏したりすることができました。どの児童もステージの後には、やりきったという達成感に溢れ、これまでの練習の成果を発揮できたことを振り返りの作文で表現していました。

総合的な学習の時間の「バリアフリーを考えよう」では、昨年開催されたパラリンピックから障害をもつ方への関心を広げ、街中や日常生活の中で見られる設備や道具について考えていきました。インターネットや本を使い情報を集めパソコンのスライドを使いクラスの皆に向け発表しました。点字ブロックやスロープ、ユニバーサルデザインのはさみなど様々なものがどのような人に向け作られているのか、またそれが作られたきっかけなど、ポイントを押さえ、楽しく紹介することができました。

### 1月行事予定

1	土	元日
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	冬季休業日終
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	始業式 書き初め 水曜時程
12	水	給食始 挨拶運動始(5年) 発育測定(6年)
13	木	校内書写展始 発育測定(5年)
14	金	読書活動 発育測定(4年)
15	土	ものづくり学習フォーラム
16	日	
17	月	放送朝会 委員会活動 発育測定(3年)
18	火	安全指導 発育測定(五組)
19	水	校内書写展終 挨拶運動終(5年) 発育測定(2年)
20	木	体育朝会(3・4年) 発育測定(1年) 避難訓練(火災・煙体験)
21	金	読書活動 代表委員会
22	土	土曜授業 ステップアップタイム
23	日	
24	月	放送朝会 クラブ活動(3年見学) エールウィーク始
25	火	学習タイム ユニセフ募金①
26	水	校内研究会(5年2組、1年2組は 5時間授業)
27	木	体育朝会(5・6年) ユニセフ募金②
28	金	読書活動 ユニセフ募金③ エールウィーク終
29	土	
30	日	
31	月	放送朝会